

どんな寝具で寝ているか、きちんと薬は服用しているか、リハビリが必要かどうかなど、その人の生活全体を見ることができれば、そこからどういう支援体制につなげられるのか、医療の視点から考えていくことができる。

訪問薬局の役割

在宅医療は、医師や歯科医師、訪問看護師のほかに、薬剤師も訪問することがある。医師の指示のもと、在宅医療を受ける患者や、通院・薬局が困難な人を対象に、自宅を訪問して調剤した薬を届けてくれる。薬の飲み方や飲み合わせなど、服薬方法を説明するほか、飲み間違いや飲み忘れがないよう一包装したり、飲みやすくしたり、残った薬を整理するなどさまざまな工夫をしてサポート。

在宅医療を受けたら

ある程度病状が落ち着いた場合、退院後の療養生活について考えなくてはならない。「自宅での療養生活に対する不安は本人だけでなく、家族も同じ」という。退院後の生活に不安を抱いたら、病院の医療相談員に相談するとよい。退院後も適切な医療が受けられるよう相談に応じるほか、在宅医療を手がけている診療所を紹介してもらえ、また、通院が困難になってきた人は、かかりつけ医になれる診療所に直接聞いてみよう。

高齢社会となり、これから在宅医療を必要とする人は

高齢社会となり、これから在宅医療を必要とする人は、ほとんど増えてくる。介護と医療が協力して患者の生活全体を見ることができれば、行政の支援制度の中からどんなサポートが受けられるか提案することができるといえる。これが市町村が進める「地域包括ケアシステム」である。「外来の延長、入院の延長として在宅医療がある。医療も介護も切れ目なく安心の医療を届けた」と今高先生は話す。



患者様が安心して自宅で過ごせるよう全力でサポートいたします。訪問診療をはじめ、訪問介護・看護・リハビリや居宅介護支援事業所などの様々なサービスを揃えております。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。



成人病(高血圧、糖尿病、脂質異常など)の治療により動脈硬化を、骨粗鬆症の治療により骨折を予防できます。歩行障害は老化ではなく、パーキンソン病などの病気の可能性もあり、神経内科専門医を受診しましょう。



内科や整形外科の専門医を中心に他の専門職と連携を図りながら、チーム医療を実践し、一人ひとりにあった在宅医療を行っています。在宅対応の最新検査機器を導入し、安全かつ質の高い医療を提供するよう努めています。

安を抱いたら、病院の医療相談員に相談するとよい。退院後も適切な医療が受けられるよう相談に応じるほか、在宅医療を手がけている診療所を紹介してもらえ、また、通院が困難になってきた人は、かかりつけ医になれる診療所に直接聞いてみよう。



Advertisement for Yamano Pharmacy (烏山薬局) with contact information and services.

Advertisement for Yamano Clinic (烏山診療所) with contact information and services.

Advertisement for Nojima Hospital (野上病院) with contact information and services.

Advertisement for Yamano Hospital (山手医院) with contact information and services.

自分らしい療養生活を過ごすために

在宅医療

～人も生活も診る医療とは～



病気や長期療養の場合、外来または入院した病院で、診察や治療を受けるのが一般的だが、病院ではなく自宅で受けられる医療もある。それが「在宅医療」だ。生活重視の医療を提供する「プライマリケア」を地域に推進し、日本プライマリケア連合会茨城支部長も務める烏山診療所(土浦市烏山)の院長・今高國夫先生に在宅医療について話を聞いた。

病気だけじゃない人も生活も診る医療

在宅医療とは、医師が患者の住まい(自宅や老人施設等)を訪ねて、診察や治療を行う医療。「往診」と「訪問診療」の2種類に分けられている。どちらも医師が訪問して診療を行うので混同している人も多いが、「定期的、計画的な訪問かどうか」という点が異なる。



健康に関するあらゆることを総合的に診断し、一人ひとりにあった医療を提供します。訪問診療、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所の各部門が連携し、患者様にとって必要な医療と介護を両面から支えます。



当院は、心臓病や不整脈、血管の病気などを専門的に、また生活習慣病からカゼにいたるまで広範囲に診断・治療・予防を行います。幅広く患者様に信頼されるクリニックとして、わかりやすく丁寧な診療を心がけて参ります。



患者様に適した服薬方法の指導や残薬管理など、きめ細やかな訪問服薬指導を行っています。医師や看護師、ケアマネジャー等との連携を密にし、ご自宅で療養される患者様にとって最善の在宅医療・介護環境を整えるため万全の体制で取り組んでいます。

往診は、患者や家族の要求に応じて出向き、臨時(不定期)で医療行為を行う。年齢や病気の種類は関係なく、足腰が弱く身体的な理由で通院が困難な場合は心強い医療サポートだ。一方、訪問診療は、定期的に医師が訪問し、患者の健康状態を維持、向上させるために診察や処置、薬の処方などを行う。退院後に自宅で療養を受けた人や病気の後遺症で寝たきりの人、心身の障害のために自力で通院が困難な人が主な対象となる。病状が安定していれば定期的に訪問するが、万が一の急変や体調不良時には必要に応じて往診してもらえ、入院治療が必要と判断されれば、適切な医療機関の紹介や手配も支援する。往診も訪問診療も医療保険が適用され、実際にかかった費用の1割～3割が自己負担となる。今高先生は「高齢社会に向けて、在宅医療に対するかかりつけ医の役割が重要となっていく」と強調する。先生は、「地域のかかりつけ医」としての役割を担い、外来診療のほか、通院が難しくなった患者の往診や訪問診療もこなす。自宅を訪問すると「熱が高い」「腰が痛い」「ものが食にくい」と症状はさまざまだったり、複数の病気を抱えていることが多かったり。自分の専門分野だけでなく、幅広く対応できる診療能力が必要だといふ。まさに、総合的な診療だ。さらに「医師の仕事は病気を治すことだけではない。人を診ることが大事。往診や訪問診療は、その人の背景にある生活もみえるので、生活支援に結び付けていくきっかけを作ることができ」と話す。診察室で診ると、実際の生活場で診るとは、目や耳にする情報量が異なる。患者がどんなものを食べ、

Large advertisement for Sun Shine Clinic (サンシャイン・クリニック) including a list of services, a contact table, and a map.